

増収とリン酸減肥を可能にする 定植前のネギ苗へのリン酸カリ溶液施用

温室効果ガス

農薬

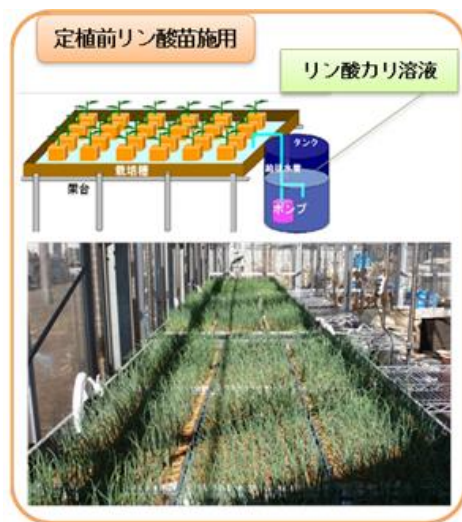
肥料

有機農業

生産 品目：ネギ

技術の概要

ネギ苗を高濃度のリン酸カリ溶液に定植前に浸漬することによって、初期生育が顕著に促進され、リン酸施肥量を50%以上削減しても、慣行と同等以上の収量を確保できる。



効果

◎収量向上効果

初期生育が促進されることによって、リン酸肥料を50%以上削減しても収量が高まる。

◎収益性向上効果

収量増による収入増と圃場へのリン酸肥料の施肥量削減によって、定植前に使用する資材費や労働時間の増加を十分に補填でき、収益性が高まる。

●ネギの初期生育を促進

ネギの苗をリン酸濃度1%に調製したリン酸カリ溶液に浸漬してから定植することによって、初期生育が顕著に促進され、リン酸減肥が可能になる。



導入の留意点

・定植前リン酸苗施用のための肥料が必要

定植前リン酸苗施用を行うために別途肥料が必要であり、市販リン酸資材「サンピプラス」の場合7kg/10aである。

・労働時間の増加

苗施用のリン酸カリ溶液を調製して苗を浸漬するために、1.5時間～3時間/10aほど労働時間が増加する。

その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

●適応地域：東北・北陸地域

●改良・普及の状況

- ・低温期の定植となる夏どり栽培、乾燥しやすい時期に定植となる秋どり栽培生産者を中心に山形県で普及

関連情報

- ・土壌診断、施肥法改善、土壌養分利用によるリン酸等の施肥量削減にむけた技術導入の手引き（平成26年）

